

## 名前 \_\_\_\_\_

**理科**

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 週テストの見直し (間違えた問題の見直し)	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題を解く	

## 担当より一言

今回は「川のはたらき(2)」について学びました。

上流、中流、下流にできる特徴的な地形はとても大切です。上流ではV字谷、中流では主に扇状地、下流では三角州ができます。この3つは形を見ながら覚えるようにしていきましょう。

また、なぜその地形ができるのかも整理してください。上流では川の流が速いので、侵食作用が強くはたらく、そのため山がVの形にけずられていくのでV字谷といいます。中流では川の流が徐々に遅くなっていくので、堆積作用がはたらくようになります。山から平地に流れ出るところに砂がたまり、上空から見ると、扇形のように見えるため、扇状地といいます。下流では、さらに堆積作用がはたらく、平地から海にでるところに、三角形のような形をした三角州ができます。

なぜその地形ができるかは、第14回の学習と繋がり深い部分ですので、第14回とセットで復習するようにしましょう。

**社会**

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み、基本問題を解く前に少しでも覚える	
② 宿題用テキストの書き込み教科書に取り組む	
③ 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
④ 週テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A・Bを解く	

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの発展問題を解く	

担当より一言

今回は「中部地方」について学びました。

中部地方は日本海側、太平洋側、そして内陸で気候が大きく異なります。もちろん夏や冬の季節風や山地山脈などの地形・標高の影響です。気候が異なるということは、そこで行われる産業も大きく変わるということです。これまで学んできたことからわかるでしょう。

日本海側は「水田単作地帯」で、米作りがさかんに行われていましたね。そして伝統工業が出てきた県もありました。この地域での伝統工業は、冬に農業ができない時期に発展したと言われていています。

太平洋側は工業が発展している地域でしたね。愛知県や静岡県では自動車やオートバイなどが作られていました。ただこの地域は、温暖で農業もさかんですから、多く生産している農作物も覚えておきましょう。

内陸県の長野県や山梨県ではくだもの作りがさかんでした。盆地の気候がくだものに適していましたね。

授業用テキストには、各県の特徴がたくさん書かれています。授業では出てこなかったものもあるかもしれませんが。まず家庭学習の最初に読み、気になるものは授業で使った白地図に書き込んでおきましょう。